

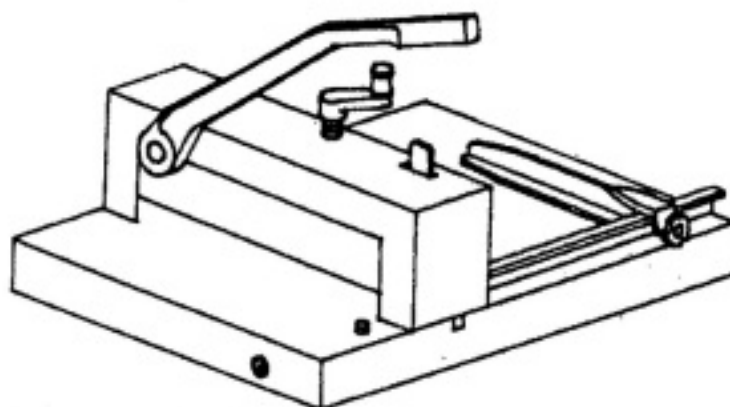
取扱説明書

断 裁 機

SC-10N型

SC-11N型

SC-10N型



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管ください。

- ・ ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ ここに示した注意事項は。製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人々へ未然に防止するためのものです。
- ・ 「安全上の注意」に使用されている絵表示の例



記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

	 注意
	刃の下には手をいれないでください。けがの原因となります。
	紙押さえおよび安全装置をはずして使用しないでください。けがの原因となります。
	使用しない時はハンドルを最後まで上げておいてください。けがの原因となります。
	断裁機の持ち運びは、テーブルを持って移動させてください。けがの原因となります。
	ぐらついたり傾いたりしている不安定な場所には、設置しないでください。けがの原因となります。
	お子様の使用は避けてください。またお子様の手の届かない場所に設置してください。けがのもととなります。

はじめに

- ・ 本製品をいつまでも最良の状態でご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使い方で末永くご使用くださるようお願い申し上げます。
- ・ この「取扱説明書」は、必要なときにいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて、大切に保管ください。
- ・ この製品は、改良のために仕様変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

はじめに	3
1. お使いになる前に	4
(1) 付属品の種類・数量の確認	
(2) 各部の名称・働き	
2. ご使用方法	6
(1) ご使用方法	
(2) カットラインの使用法	
3. 日常のお手入れ	8
(1) 刃受板の交換	
(2) 替刃の交換	
(3) 注油	
(4) 刃の平行調整	
(5) 故障と思う前に	
4. 消耗品	11
5. 仕様	11

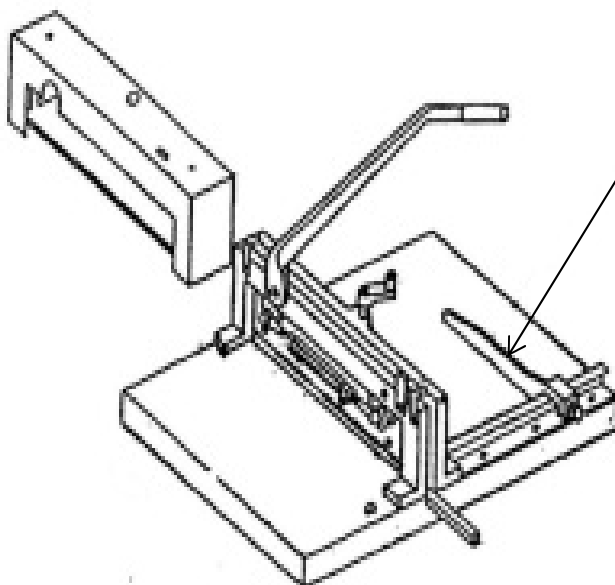
1. お使いになる前に

(1) 付属品の種類・数量の確認

箱の中に次の品物が揃っているか、お確かめください。

万一、足りないものがある場合は販売店または当社営業担当者まで、お問合せください。

① 本体



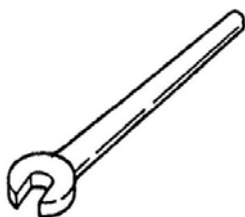
② スライドゲージ

③ 電池（単2×2本）



④ ロット調整用レンチ

14mm (SC-10N, SC-11N) 17mm (SC-20N)

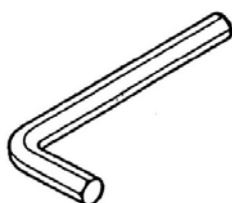


⑤ 取扱説明書（本誌）

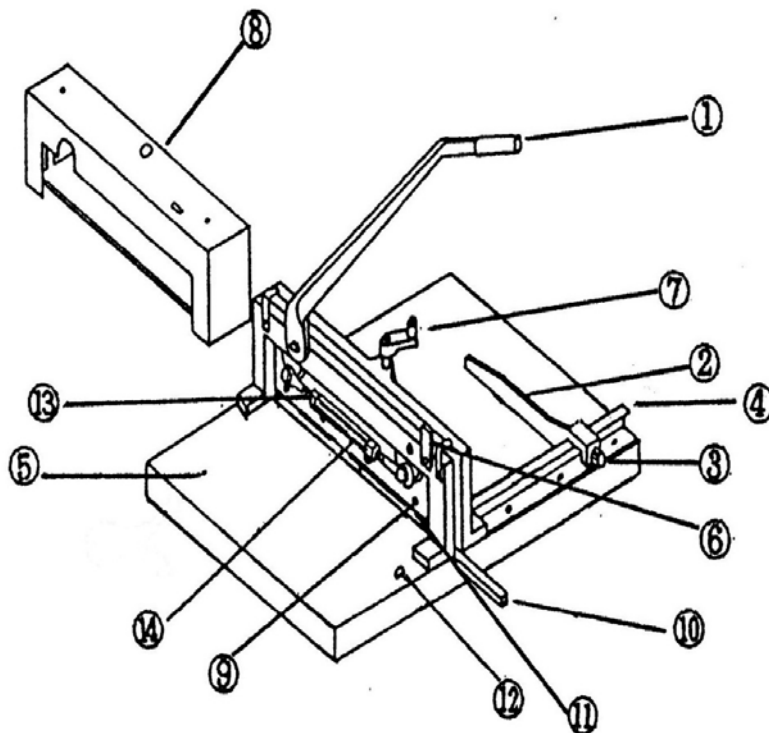


⑥ レンチ（SC-20N型）

レバーハンドル固定用



(2) 各部の名称と働き



①レバーハンドル

断裁時に刃を上下させます。

②スライドゲージ

用紙の断裁幅を決めるときに
使用します。

③ゲージ止めボルト

スライドゲージを止めます。

④サイドゲージ

用紙を揃えます

⑤テーブル

本体

⑥安全ロックカバー

ロックされるとレバーハンドルが
固定され刃は降りません。

⑦プレスハンドル

用紙を固定し、ズレを防止します。

⑧マシンカバー

機構部のカバー

⑨刃止めネジ

刃を固定します。

⑩刃受板

用紙を断裁した後の刃先の
保護をします。

⑪刃

用紙を断裁します。

⑫スイッチ

カッティングラインを出します。

⑬ロックナット

反の水平を出します。

⑭調節ナット

ロックナットと調節ナットを
調整して刃の水平を出します。

2. 使用方法

(1) 準備

- ① 本体をぐらつきのない平らなデスクなどの上に設置します。
- ② レバーハンドルを本体のレバー軸に取り付けます。
(SC-20Nは付属のL型レンチで、他の製品はお手持ちのレンチをご使用ください)
- ③ スライドゲージをサイドゲージに取り付けます。
- ④ 付属の乾電池を所定の場所に取り付けます。

 注 意	
	ぐらついたり傾いたりしている不安定な場所には、設置しないでください。けがの原因となります。

(2) 安全装置の確認

レバーハンドルがロックされているか確認します。ロックされていない場合はレバーハンドルを安全ロックレバーが作動する一番上まで引き上げます。

 注 意	
	断裁機を使用しない場合は必ずハンドルをロックしておいてください。けがの原因となります。

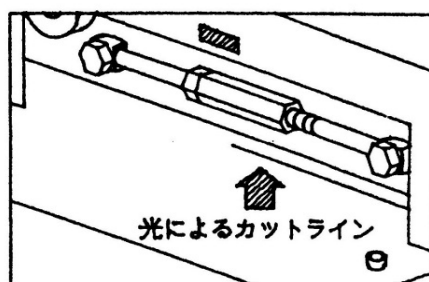
(3) 断裁の寸法位置決め

用紙の断裁寸法を決めます。スライドゲージをサイドゲージ上の目盛りに合わせてスライドさせ、ゲージ止めボルトを固定します。

断裁すべき用紙はスライドゲージとサイドゲージに正しく当て、揃えてください。

(4) カットライン表示機能

この断裁機はカットライン表示機能がついております。断裁の目安としてご利用ください。



カットラインの使用法

- ①用紙をテーブルに載せ、スライドゲージに正しく揃えます。
- ②電源スイッチを入れるとマシンカバー内部のランプが点灯して断裁部分を示す光のラインが出ます。
スライドゲージを調節し、切ろうとする部分にカットラインが重なるように調節します。
- ③刃はカットライン付近に下りてきます。カットラインは0.5mm程度の幅があり、正確に切るためには試し切りをして刃物のおりる正しい位置を確認してください。
- ④断裁が終わりましたら、必ず電源スイッチを切ってください。
- ⑤カットライン表示機能は、使用しなくても支障はありません。必要に応じてご利用ください。

（５）用紙の固定

用紙が揃いましたら、プレスハンドルを回しプレスプレートを下げ、用紙をしっかり固定します。固定されていない場合は、用紙がずれてしまいますので、忘れずに固定してください。

（６）断裁する

まず、右手で安全ロックバーを倒しロックを開放しながら、左手でレバーハンドルを静かに下げます。
この時に安全ロックレバーが軽く作動しない場合は、レバーハンドルを少し上にあげておいてから安全ロックレバーを倒してください。ロックが外れたら右手もレバー添え両手でハンドルを下げます。
用紙に刃が当たりましたら強くハンドルを押し下げてください。用紙を断裁します。

		注 意
	刃の下には手をいれないでください。けがの原因となります。	

（７）断裁の完了

断裁が完了したら、必ずレバーハンドルを一番上まで引き上げ、安全ロックレバー作動させてください。
カットラインを使用した場合は、必ず電源スイッチをお切りください。

3. 日常のお手入れ

(1) 刃受板の交換

刃受板に刃先のくい込みが深くなりますと、刃の切れ味が悪くなります。
このような場合は刃受板を回転させ、刃の受け面を他の面に換えてください。
刃受板は4面使用可能です。刃受板はテーブルの側面から引き抜いて
交換してください。

(2) 替刃の交換

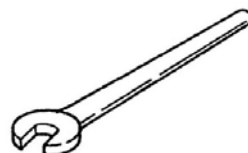
① 準備

刃の切れ味が悪くなった時は、製品を購入した販売店または当社まで
申し付けください。研磨をさせていただきます。
(有償にて賜ります。摩耗状態によっては研磨できないこともあります)
刃物の交換には、以下の工具が必要になります。交換の前に工具をお揃えください。

ア. プラスドライバー



イ. ロット調整用レンチ

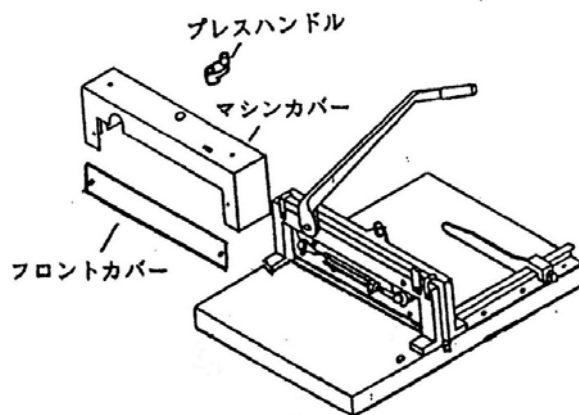


② 刃の交換順序

安全ロックレバーに触れずにレバーハンドルが下がらないことを確認ください。
レバーハンドルが固定されたロックの状態です。

③ 刃の取外し

まず、プレスハンドルを回して
プレスプレートを最下段まで下げます。
プレスハンドルを止めているボルト
を外してプレスハンドルを抜きます
次に、フロントカバーの止めボルトを
外してフロントカバーを取り去ります。
カバーを引き上げて外してください。

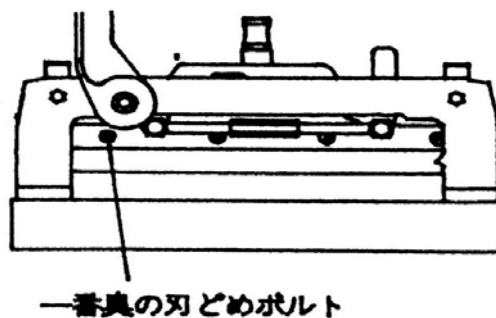


注 意



プレスプレートは必ず最下段まで下げてください。けがの原因となります。

- ④プラスドライバーで、
一番奥の刃止めボルトをはずしてください。

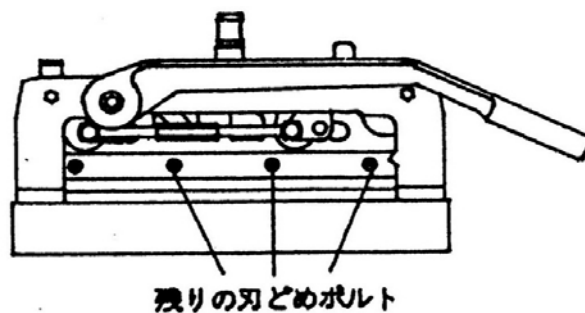


注意

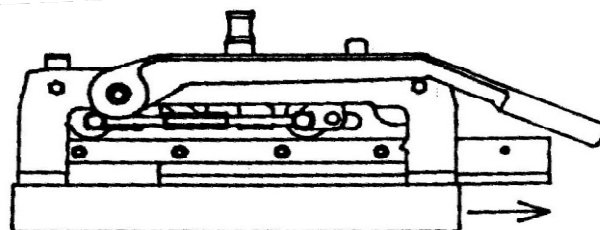


刃の下には手を入れないでください。けがの原因になります。

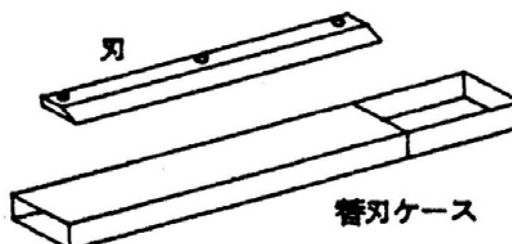
- ⑤次に、安全装置のロックを解除レバーハンドルを下げます。刃が下まで降りた状態に残りの刃止めボルトを外します。



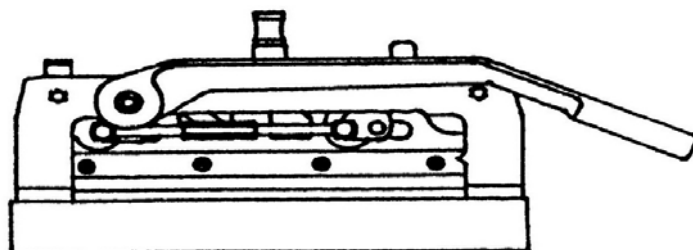
- ⑥刃についている油で滑りやすくなっている場合がありますので、
注意しながら刃を手前側より慎重に引き抜いてください。



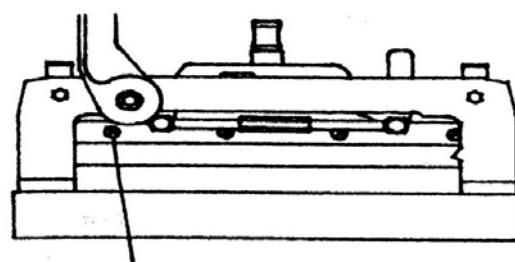
- ⑦刃が抜けたら替刃ケースまたはダンボールなどの箱に入れ、研磨にお出してください。
刃物の取扱いは、慎重に行ってください。



⑧刃の取付は。刃の取外しの逆の順序で行います。レバーハンドルが下がった状態で刃を本体手前から 差し込んで、刃の止め孔とメインフレームとの孔を合わせてください。



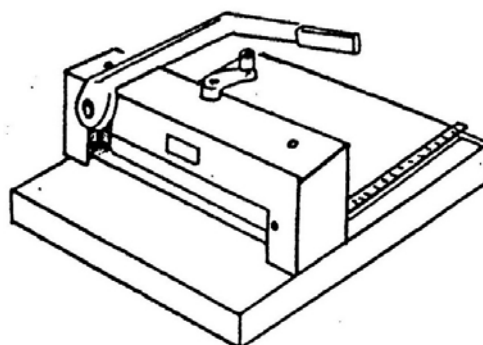
⑨本体手前から側より刃止めボルトで固定します。



一番奥の刃止めボルト

⑩レバーハンドルを上げ、安全装置をロック状態にして一番奥の刃止めボルトを固定します。

⑪マシンカバーを取り付けて、次にフロントカバー、プレスハンドルを取り付けて終了です。刃の取扱は十分注意の上、各部のネジは強く締め付けてください。



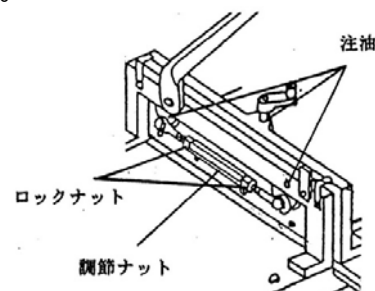
(3) 注油

本体のスライド部には、定期的に（2～3ヶ月）注油をしてください。油が切れまるとレバーハンドルが重くなったり、本体フレームやメインフレーム部の摩耗が進行する原因となります。

(4) 刃の平行調整

刃先が刃に対して平行でないと端部の切れ残りを生じます。この場合は以下の手順で調整してください。

- ①安全ロックレバーを作動させます・
- ②フロントカバーを外します。
- ③レバーハンドルの下にネジ棒がありますので、ネジ棒のロックナットを付属のレンチにて緩めます。



- ④最大断裁幅の用紙を用意し試し切りをします。左右どちらかが切れ残るような場合は、レンチで調節ナットを左または右へ回して試し切りをします。
- ⑤平行が出るまでに繰り返し平行が出たところで、ロックナットを完全に締め付けます。

(5) 故障と思う前に・・・

カットラインが出ない場合

安全ロックレバーは常にロックの状態にしておきます。

- ①マシンカバーを外します。
- ②白い用紙を用意して、試し切りができるようにしてください。
- ③スイッチを入れてからLEDの位置を前後に調整し、下の用紙に光のラインがよく出る位置を見つけてください。
- ④ラインがでましたら、マシンカバーを取り付けてご使用ください。

あまり、明るい場所ですとラインがよくわかりませんので、なるべく光を遮断できる場所などで調整してからご使用ください。

4. 消耗品

刃物、刃受けは消耗品です。

お求めは、ご購入の販売店か当社営業まで、お問合せください。

5. 仕様

	SC-20N	SC-11N	SC-10N
細断幅	430mm	370mm	300mm
細断奥行	465mm	425mm	300mm
台サイズ	520W×700D	460W×600D	390W×505D
断裁枚数	375枚	350枚	300枚
質 量	31.0kg	23.0kg	15.0kg
断裁枚数はPPC用紙64 g /m ²			

※本機仕様は機能向上のため、予告なく変更することがあります。

株式会社 **内田洋行**

お客様相談センター



0120-077-266